

第2次健康りっとう21（実績照会）

【目指す方向 行動目標】

○生活リズムを整え、朝ごはんを食べよう。

○必要な食事を量を知り、適正体重を維持しよう。

★目指す方向 行動目標を達成するために実施した下記以外の取組・事業もありましたら記載してください。（単年度実施のものでも構いません）

資料4-1

1. 栄養・食生活

進捗状況 A:計画以上に進んでいる B:計画通りに進んでいる C:計画よりも遅れている D:評価困難／評価 A:改善 A-:改善傾向 B:変化なし(±1%未満) C:悪化 D:評価困難

取組・事業	内容	担当部署	R5(2023)年度 取組み計画	R6(2023)年3月31日時点 (見込み含む)実績	進捗 状況	評価指標		評価	目標 R5 (2023)
						基準値 策定当時の最新データ H24(2012)を基準	最終値 評価当時の最新データ R4(2022)を基準		
・親子の食育教室	幼稚園・保育園・ 幼児園などでの行 事の支援を通じて、 保護者への食の大切 さを伝えます。	民生委員児童委員協 議会	●子育てサロンで食育教室を実施 年2回(幼稚園、地域の未就園児と 保護者)	2回実施	B	ほぼ毎日朝食を食べる児童 生徒の増加 小学生 97.1% 中学生 92.8%	ほぼ毎日朝食を食べる児童 生徒の増加 小学生 95.5% 中学生 94.0%	C A	↗
・バランスのよい食 生活の啓発	栄養改善教室等 を開催し、バランス のよい食生活の啓 発を実施します。 イベント等で野菜 を使ったレシピの紹 介を行います。	健康推進員連絡協 議会	●伝達講習会(年3回)実施 ●各学区や、地域での栄養改善教 室の実施 ●食育推進事業「食育の日」ティ ッシュ配布 ●野菜食べ隊活動を市内スーパ ー等で実施 ●食のシルバーパワー支援事業 「食の知恵袋教室」実施 ●シルバー認知症予防教室 ●生活習慣病予防のための減塩プ ロジェクト ●ヘルスマイトパワーアップ事業とし て、健康推進のスキルアップのため 健康づくり財団にて研修 ●やさしい在宅介護食教室の実施 ●「なごやかいちようまつり」にてエ ブロンシアターで啓発 ●学区の祭り等での展示や試食を 通じた啓発活動の実施 ●高齢者サロンの支援や啓発の実 施 ●県委託事業の実施 生涯骨太クッキング、生涯を通じた 食育活動、野菜食べ隊活動、やさ しい在宅介護食教室、高齢者低栄養 予防教室、健康寿命延伸プロジェ クト(働き盛り世代、高齢者世代)、 ヘルスマイトパワーアップ事業、食育推 進月間	●伝達講習会を実施(1回) ●各学区において食育推進事業「食 育の日」にティッシュや食に関する啓 発資料を配布 ●生活習慣病予防のための減塩プ ロジェクト ●やさしい在宅介護食教室の実施 ●学区の祭り等での展示や試食を 通じた啓発活動の実施 ●高齢者サロンの支援や啓発の実 施 ●県委託事業の実施 生涯骨太クッキング、生涯を通じた 食育活動、野菜食べ隊活動、やさ しい在宅介護食教室、高齢者低栄養 予防教室、健康寿命延伸プロジェ クト(働き盛り世代、高齢者世代)、 ヘルスマイトパワーアップ事業、食育推 進月間	B	朝食を欠食する人の減少 男性 8.6% 女性 5.4% 食塩摂取量の減少 男性 11.6g 女性 9.7g 食事の内容や栄養バランス に気をつけている人の増加 男性 58.6% 女性 79.5% 野菜摂取量の増加 250.2g 適正体重を維持している人 の増加 肥満者の割合(男性) 25.3% やせの者の割合(女性) (15~19歳 27.8% 20歳以上 29.4%) メタボリックシンドロームの該 当者および予備軍の割合 40歳以上男性 44.7% 40歳以上女性 17.6%	朝食を欠食する人の減少 男性 17.4% 女性 10.0% 食塩摂取量の減少 男性 11.4g 女性 9.3g 食事の内容や栄養バランス に気をつけている人の増加 男性 63.3% 女性 78.9% 野菜摂取量の増加 235.4g 適正体重を維持している人 の増加 肥満者の割合(男性) 27.3% やせの者の割合(女性) (15~19歳 25.0% 20歳代 21.3%) メタボリックシンドロームの該 当者および予備軍の割合 40歳以上男性 50.2% 40歳以上女性 19.2%	C C A A A B C A A C C	↘ ↘ ↗ ↗ ↘

【目指す方向 行動目標】

- 生活リズムを整え、朝ごはんを食べよう。
- 必要な食事を量を知り、適正体重を維持しよう。

資料4-1

★目指す方向 行動目標を達成するために実施した下記以外の取組・事業もありましたら記載してください。(単年度実施のものでも構いません)

1. 栄養・食生活

進捗状況 A:計画以上に進んでいる B:計画通りに進んでいる C:計画よりも遅れている D:評価困難/評価 A:改善 A-:改善傾向 B:変化なし(±1%未満) C:悪化 D:評価困難

取組・事業	内容	担当部署	R5(2023)年度 取り組み計画	R6(2023)年3月31日時点 (見込み含む)実績	進捗 状況	評価指標		評価	目標 R5 (2023)
						基準値 策定当時の最新データ H24(2012)を基準	最終値 評価当時の最新データ R4(2022)を基準		
・食育の啓発活動	料理教室、各種講習会、イベントの開催等を通じて食育を啓発します。	健康推進員連絡協議会	<ul style="list-style-type: none"> ●おやこの食育教室の実施 ●生涯を通じた食育推進活動の実施 ●男性のための料理教室の実施 ●毎月19日は食育の日であり、PRのためスーパー等でティッシュ配り 	<ul style="list-style-type: none"> ●おやこの食育教室の実施 ●生涯骨太クッキングの実施 ●高齢者低栄養予防教室の実施 ●生涯を通じた食育推進活動の実施 ●食育推進月間の実施 					
・健康づくり啓発への協力	医療機関や商店など人が集まる民間の公共的施設において、健康づくりの啓発や情報提供を実施します。	医師会 歯科医師会 あなたの健康ささえ隊協力事業所	<p>医師会</p> <ul style="list-style-type: none"> ●診療所において、プロジェクトWの配付、ポスターの掲示の実施 ●日常診療を通じて、バランスの良い食生活について指導を実施 <p>歯科医師会</p> <ul style="list-style-type: none"> ●プロジェクトWの配付、ポスターの掲示の実施 <p>薬剤師会</p> <ul style="list-style-type: none"> ●プロジェクトWの配付、ポスターの掲示の実施 	<p>医師会</p> <ul style="list-style-type: none"> ●診療所において、プロジェクトWの配付、ポスターの掲示を実施した ●日常診療を通じて、バランスの良い食生活について指導を実施した <p>歯科医師会</p> <ul style="list-style-type: none"> ●プロジェクトWの配付、ポスターの掲示の実施 	B				
・「早寝早起き朝ごはん」の推進	学校医として、小中学校の学校保健委員会等を通じて、「早寝早起き朝ごはん」の習慣づくりを推進します。	医師会	<ul style="list-style-type: none"> ●学校医として、小中学校の学校保健委員会等を通じて、「早寝早起き朝ごはん」の習慣づくりの推進に協力 	<ul style="list-style-type: none"> ●学校医として、小中学校の学校保健委員会等を通じて、「早寝早起き朝ごはん」の習慣づくりの推進に協力した 	B	ほぼ毎日朝食を食べる児童生徒の増加 小学生 97.1% 中学生 92.8%	ほぼ毎日朝食を食べる児童生徒の増加 小学生 96.5% 中学生 93.0%	C A	↗

【目指す方向 行動目標】

- 生活リズムを整え、朝ごはんを食べよう。
- 必要な食事量を知り、適正体重を維持しよう。

資料4-1

★目指す方向 行動目標を達成するために実施した下記以外の取組・事業もありましたら記載してください。(単年度実施のものでも構いません)

1. 栄養・食生活

進捗状況 A:計画以上に進んでいる B:計画通りに進んでいる C:計画よりも遅れている D:評価困難/評価 A:改善 A-:改善傾向 B:変化なし(±1%未満) C:悪化 D:評価困難

取組・事業	内容	担当部署	R5(2023)年度 取り組み計画	R6(2023)年3月31日時点 (見込み含む)実績	進捗状況	評価指標		評価	目標 R5 (2023)
						基準値 策定当時の最新データ H24(2012)を基準	最終値 評価当時の最新データ R4(2022)を基準		
・体重測定の推進	適正体重を自分で管理するため、体重測定をするように啓発します。	あなたの健康ささえ隊協力事業所 健康推進員連絡協議会 健康増進課 長寿福祉課 こども家庭センター	●県からの委託事業、生活習慣病予防のための減塩プロジェクトにおいて適正BMIについて説明。 ●フレイル予防個別相談事業 いきいき百歳体操実践団体継続支援の際に基本チェックリストの栄養項目でフレイル状態かつ希望者に対して管理栄養士が自宅等に出向いて食生活ならびに栄養に関する助言や指導を行う。	健康推進員連絡協議会 ●県からの委託事業の働き世代延伸プロジェクトにおいて、生活習慣病予防のための塩分測定やBMI測定を実施。 ●いきいき百歳体操実施時にフレイル予防について周知啓発を実施。 長寿福祉課 いきいき百歳体操実践団体のうち4団体が管理栄養士の講話を希望され、講話後フレイルチェックを実施。低栄養状態のものはなく、訪問栄養指導の実績なし。 こども家庭センター 妊娠期から産後にかけて、必要な時期に妊産婦健康診査を受診し、体重管理を含めた健康管理を行うよう指導を行いました。	B	●中間評価からの評価指標 体重測定をする人の増加 68.7%	体重測定をする人の増加 68.3%	B	↗
・くりちゃん野菜たっぶりレシピの推進	野菜摂取量を増やすこと、野菜から食べることの必要性を普及します。あなたの健康ささえたい協力事業所や学区民まつり等で、くりちゃん野菜たっぶりレシピを推進します。	あなたの健康ささえ隊協力事業所 健康推進員連絡協議会 健康増進課	●学区民まつりでくりちゃん野菜たっぶりレシピを配布 ●食育教室や健康フェアにて350gの野菜の量と調理後の量を紹介・推進を実施 ●健康情報ちらし「プロジェクトW」に野菜たっぶりレシピを掲載し、配布	健康推進員連絡協議会 ●区民祭りなどで1日の野菜摂取推奨量350gの計測を実物の野菜を用いて実施。また、緑黄色野菜と淡色野菜の違いについて啓発を実施。 健康増進課 健康情報ちらし「プロジェクトW」に野菜たっぶりレシピを掲載し、配布した。	B	野菜の摂取量の増加 250.2g	野菜の摂取量の増加 235.4g	C	↗

【目指す方向 行動目標】

- 生活リズムを整え、朝ごはんを食べよう。
- 必要な食事量を知り、適正体重を維持しよう。

★目指す方向 行動目標を達成するために実施した下記以外の取組・事業もありましたら記載してください。(単年度実施のものでも構いません)

資料4-1

1. 栄養・食生活

進捗状況 A:計画以上に進んでいる B:計画通りに進んでいる C:計画よりも遅れている D:評価困難/評価 A:改善 A-:改善傾向 B:変化なし(±1%未満) C:悪化 D:評価困難

取組・事業	内容	担当部署	R5(2023)年度 取組み計画	R6(2023)年3月31日時点 (見込み含む)実績	進捗状況	評価指標		評価	目標 R5 (2023)
						基準値 策定当時の最新データ H24(2012)を基準	最終値 評価当時の最新データ R4(2022)を基準		
・食についての教育・情報提供	朝食の大切さや栄養バランスの大切さを子供に伝えます。同時に保護者へも情報提供を行います。	市立小中学校	<p>小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ●学校栄養教諭による指導、授業 ●給食感謝週間への取組 ●毎月19日を食育の日と設定 ●『あと半口(残っている量の半分)運動』等の実施 ●学校保健委員会で栄養教諭の講話と給食試食会の実施 ●給食の残菜調べ ●お弁当づくり、調理実習の実施 ●食育だよりの発行 <p>中学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ●家庭科の授業を通して、朝食の大切さ等食育指導を実施する。 ●年3回食育だよりを発行する、食育授業の実施 ●摂取内容について自分自身で考えていけるよう、掲示物や保健だより等で啓発していく。 ●調理実習の実施(2年生) ●「お弁当の日」を設定し、弁当作りの啓発 	<p>小学校(養護教諭部会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●学校栄養教諭による指導、授業 ●給食感謝週間への取組 ●毎月19日を食育の日と設定 ●『あと半口(残っている量の半分)運動』等の実施 ●学校保健委員会で栄養教諭の講話と給食試食会の実施 ●給食の残菜調べ ●お弁当づくり、調理実習の実施 ●食育だよりの発行 <p>中学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ●家庭科の授業を通して、朝食の大切さ等食育指導を実施する。 ●年3回食育だよりを発行する、食育授業の実施 ●摂取内容について自分自身で考えていけるよう、掲示物や保健だより等で啓発していく。 ●調理実習の実施(2年生) ●「お弁当の日」を設定し、弁当作りの啓発 	B	<p>ほぼ毎日朝食を食べる児童生徒の増加</p> <p>小学生 97.1%</p> <p>中学生 92.8%</p>	<p>ほぼ毎日朝食を食べる児童生徒の増加</p> <p>小学生 95.5%</p> <p>中学生 94.0%</p>	C A	↗
・園等での食についての教育・啓発	幼稚園・保育園・幼児園などにおいて、関係団体の協力を得ながら、食についての教育・啓発を行います。	幼稚園・保育園・幼児園	<ul style="list-style-type: none"> ●毎月給食だよりを配布し、食と健康に関する正しい知識の啓発 ●野菜栽培やクッキングなどの食育活動や給食での啓発。 ●健康推進員による園児への食育指導。 ●課の栄養士が5歳児親子に食育教室を実施 	<p>幼児課</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月給食だよりを配布し、食と健康に関する正しい知識の啓発を行った。 ・クラス用献立表を作成配布した。子どもが献立表を見て給食を楽しみにしたり、使われている食材や献立に興味をもつことができた。 ・野菜を栽培したり、それを使ってクッキングをしたり興味関心をもった。 	B	<p>ほぼ毎日朝食を食べる児童生徒の増加</p> <p>小学生 97.1%</p> <p>中学生 92.8%</p>	<p>ほぼ毎日朝食を食べる児童生徒の増加</p> <p>小学生 95.5%</p> <p>中学生 94.0%</p>	C A	↗

【目指す方向 行動目標】

- 生活リズムを整え、朝ごはんを食べよう。
- 必要な食事量を知り、適正体重を維持しよう。

資料4-1

★目指す方向 行動目標を達成するために実施した下記以外の取組・事業もありましたら記載してください。(単年度実施のものでも構いません)

1. 栄養・食生活

進捗状況 A:計画以上に進んでいる B:計画通りに進んでいる C:計画よりも遅れている D:評価困難/評価 A:改善 A-:改善傾向 B:変化なし(±1%未満) C:悪化 D:評価困難

取組・事業	内容	担当部署	R5(2023)年度 取り組み計画	R6(2023)年3月31日時点 (見込み含む)実績	進捗状況	評価指標		評価	目標 R5 (2023)
						基準値 策定当時の最新データ H24(2012)を基準	最終値 評価当時の最新データ R4(2022)を基準		
・カルシウム摂取不足と運動不足の解消に関する啓発	幼稚園、保育園、幼児園の保護者、小学生に対して、カルシウム摂取量を増やすこと、運動により子どもの頃から骨量を高め、維持することの必要性についての知識を普及します。	幼稚園・保育園・幼児園 幼児課 市立小学校 健康増進課	●幼稚園、保育園、幼児園の保護者を対象とした研修会の実施 治田保育園にて6月にて ①2月 治田幼稚園・治田保育園 ●幼稚園、保育園、幼児園の保護者、小学生の保護者への出前講座においてカルシウム摂取の必要性について啓発。 小学校 ●栄養教諭による「食の学習」を実施する。	幼児課 6月治田保育園にて保護者に骨粗しょう症予防についての講話と健康運動の実技指導を行った。 治田幼稚園は学級閉鎖で中止。 小中学校(養護教諭部会) ●学校栄養教諭による指導 健康増進課 治田保育園、治田東幼児園にて保護者に骨粗しょう症予防についての講話と健康運動の実技指導を行った。 治田幼稚園は学級閉鎖で中止。	B	全出生数の低出生体重児の割合の減少 9.6%	全出生数の低出生体重児の割合の減少 8.5%	A	↘
	栄養不足や運動不足による若い女性のやせが与える健康への影響について、知識を普及します。					食事の内容や栄養バランスに気をつけている人の増加 男性 58.6% 女性 79.5%	食事の内容や栄養バランスに気をつけている人の増加 男性 63.3% 女性 78.9%	A B	↗
・食に関する講座の開催	コミュニティセンター等において、食に関する講座を開催します。	生涯学習課	●平和学習 全学区(9)実施 ●親子クッキング 親子ベーキング教室 4回 ●はつらつ教養大学 食育栄養講座 2回	●平和学習 全学区(9)実施 食事体験未実施 ●親子お菓子づくり教室 6回 ●はつらつ教養大学 食育栄養講座 2回	B	ほぼ毎日朝食を食べる児童生徒の増加 小学生 97.1% 中学生 92.8%	ほぼ毎日朝食を食べる児童生徒の増加 小学生 95.5% 中学生 94.0%	C A	↗
						食事の内容や栄養バランスに気をつけている人の増加 男性 58.6% 女性 79.5%	食事の内容や栄養バランスに気をつけている人の増加 男性 58.9% 女性 79.1%	B B	↗

【目指す方向 行動目標】

- 生活リズムを整え、朝ごはんを食べよう。
- 必要な食事量を知り、適正体重を維持しよう。

資料4-1

★目指す方向 行動目標を達成するために実施した下記以外の取組・事業もありましたら記載してください。(単年度実施のものでも構いません)

1. 栄養・食生活

進捗状況 A:計画以上に進んでいる B:計画通りに進んでいる C:計画よりも遅れている D:評価困難/評価 A:改善 A-:改善傾向 B:変化なし(±1%未満) C:悪化 D:評価困難

取組・事業	内容	担当部署	R5(2023)年度 取り組み計画	R6(2023)年3月31日時点 (見込み含む)実績	進捗状況	評価指標		評価	目標 R5 (2023)
						基準値 策定当時の最新データ H24(2012)を基準	最終値 評価当時の最新データ R4(2022)を基準		
・乳幼児に対する栄養指導・相談	乳幼児健診において離乳食指導など栄養指導を行います。 乳幼児を対象として栄養相談を実施します。 乳幼児健診時などに、望ましい食生活の基礎づくりを啓発します。	こども家庭センター	●乳幼児栄養指導・相談 (①4か月・10か月健診での栄養集団指導 各月2回実施⇒中止) ②定例栄養相談 月4~5回実施 ③啓発リーフレットの配布 4か月・10か月・1歳6か月 各月2回実施。その他、必要者に配布。	・乳幼児健康診査や健康相談時に栄養指導・相談を行うとともに、電話相談や訪問指導を行いました。 ・乳幼児健康診査時の集団指導は中止となり、個別相談を実施しました。 ・4か月、10か月、1歳6か月健康診査で啓発リーフレットを配布し、必要に応じてリーフレットをもとに相談・指導を行いました。	B	食事の内容や栄養バランスに気をつけている人の増加 男性 58.6% 女性 79.5%	食事の内容や栄養バランスに気をつけている人の増加 男性 63.3% 女性 78.9%	A B	↗
・特定保健指導での生活習慣改善に伴う食生活指導	特定健康診査の結果、特定保健指導の対象となった人に生活習慣改善に伴う食生活指導を実施し、メタボリックシンドロームの改善を推進します。	健康増進課	●特定保健指導での生活習慣改善に伴う食生活指導(特定保健指導利用者数)	●令和4年度は参加者数52名、今年度についても10月より実施している。	B	適正体重を維持している人の増加 肥満者の割合(男性) 25.3% やせの者の割合(女性) (15~19歳 27.8% 20歳以上 29.4%) メタボリックシンドロームの該当者および予備軍の割合 40歳以上男性 44.7% 40歳以上女性 17.6%	適正体重を維持している人の増加 肥満者の割合(男性) 27.3% やせの者の割合(女性) (15~19歳 25.0% 20歳代 21.3%) メタボリックシンドロームの該当者および予備軍の割合 40歳以上男性 50.2% 40歳以上女性 19.2%	C A A C C	↗ ↘
・生活習慣病相談	生活習慣病の発症や悪化予防のための栄養相談を実施します。	健康増進課	●定例生活習慣病相談の実施(対象者の健診結果等を参考に指導または医療機関への受診勧奨)	●対象者の健診結果等を参考に指導または医療機関への受診勧奨を実施した。	B	●中間評価からの評価指標 体重測定をする人の増加 68.7%	体重測定をする人の増加 68.3%	B	↗
・簡単野菜メニューの出前講座	食育推進計画に沿って、家庭で野菜料理を1皿増やしてもらうために、お弁当向き簡単野菜レシピや子どもの苦手な野菜を克服できるメニューについて講座を行います。	健康増進課	●簡単野菜メニューの出前講座の実施	依頼がなかった為、実施なし。	D	野菜の摂取量の増加 250.2g	野菜の摂取量の増加 235.4g	C	↗

【目指す方向 行動目標】

- 生活リズムを整え、朝ごはんを食べよう。
- 必要な食事量を知り、適正体重を維持しよう。

資料4-1

★目指す方向 行動目標を達成するために実施した下記以外の取組・事業もありましたら記載してください。(単年度実施のものでも構いません)

1. 栄養・食生活

進捗状況 A:計画以上に進んでいる B:計画通りに進んでいる C:計画よりも遅れている D:評価困難/評価 A:改善 A-:改善傾向 B:変化なし(±1%未満) C:悪化 D:評価困難

取組・事業	内容	担当部署	R5(2023)年度 取り組み計画	R6(2023)年3月31日時点 (見込み含む)実績	進捗状況	評価指標		評価	目標 R5 (2023)
						基準値 策定当時の最新データ H24(2012)を基準	最終値 評価当時の最新データ R4(2022)を基準		
・子どもの食に関する講座の開催	子育て中の保護者を対象に、離乳食の作り方や与え方など食事の基礎を学ぶ講座を開催します。	子育て支援課	●離乳食講座4回 ●にこにこ広場「離乳食コーナー」 ●子育て講座「乳幼児の食育について」	管理栄養士を講師に離乳食講座を開催し、月齢に合わせた離乳食の作り方や与え方等、具体的な学びの場の提供を行いました。また、乳幼児の食育についての講座では、質疑応答の中で、個々の食事に関する悩み等の解決を図ることができました。	B	ほぼ毎日朝食を食べる児童生徒の増加 小学生 97.1% 中学生 92.8%	ほぼ毎日朝食を食べる児童生徒の増加 小学生 95.5% 中学生 94.0%	C A	↗
・「ふだんの生活習慣アンケート調査」の実施と活用	市立小中学校の全児童生徒を対象とした食生活等基本的な生活習慣に関する「ふだんの生活習慣アンケート調査」の実施と活用	学校教育課 幼児課	●市内保幼小中学校の全児童生徒を対象とした「朝食摂取率」を調査し、関係機関等での活用を図ります。	学校教育課 小学校5年生、中学校2年生を対象に調査を実施した。結果(小学校94.9%・中学校93.0%)を食育推進の取組や各学校への指導等に活用することができた。 幼児課 生活習慣アンケートを分かりやすく見直し、実態把握につながるようにした。朝食摂取の必要性についておたよりを通して子どもと家庭に啓発した。	B	ほぼ毎日朝食を食べる児童生徒の増加 小学生 97.1% 中学生 92.8%	ほぼ毎日朝食を食べる児童生徒の増加 小学生 95.5% 中学生 94.0%	C A	↗
【変更】 →滋賀県「朝食摂取率調査」の実施と活用	【変更】 市内小中学校の全児童生徒を対象として、「朝食摂取率」を調査し、関係機関等での活用を図ります。					適正体重を維持している人の増加 肥満者の割合(男性) 25.3% やせの者の割合(女性) (15~19歳 27.8% 20歳以上 29.4%)	適正体重を維持している人の増加 肥満者の割合(男性) やせの者の割合(女性) (15~19歳 35.1% 20歳以上 24.1%)	A A	↗

【変更】
指標を削除